

講座の実施概要

(1)実施日及び時間

令和7年6月30日（月）14:30～15:15（6時限）

(2)対象者

北広島町立芸北小学校（5・6年生16名+教員3名）

(3)説明者

西部建設事務所安芸太田支所、砂防課

(4)講座内容

- ・土砂災害及び情報収集、避難行動に関する講義
- ・非常持出品についての演習
- ・VRによる疑似体験学習

実施状況写真



VR体験



非常持出品演習



- ・講義では土砂災害や情報収集の重要性など昨年度の講義の振り返りを行った。
- ・土砂災害等が発生した際にどのような状況となるかVRで災害を疑似体験した。
- ・災害発生時にどのようなものが必要となるか非常持出品の確認を行った。

児童の感想

- ・VRで体験することができ実際の状況やどんなことが起こるかよくわかった。
- ・避難を邪魔するものは自分の心だということを知って知った。「前も大丈夫だった。」「周りの人が逃げていないから。」などと思うのではなく、自分から避難をして、他の人にも声をかけて、誰も逃げ遅れないようにしたい。土砂災害の恐ろしさを知ったので、家で家族にも話したい。
- ・近所に高齢者の方がおられるので、声かけや手助けするということを頭に入れて、避難したい。
- ・自分の家をハザードマップで調べてどこに避難すれば安全かを確認したい。
- ・家族と、何を持って避難するのかをもっと考えて準備をしようと思った。